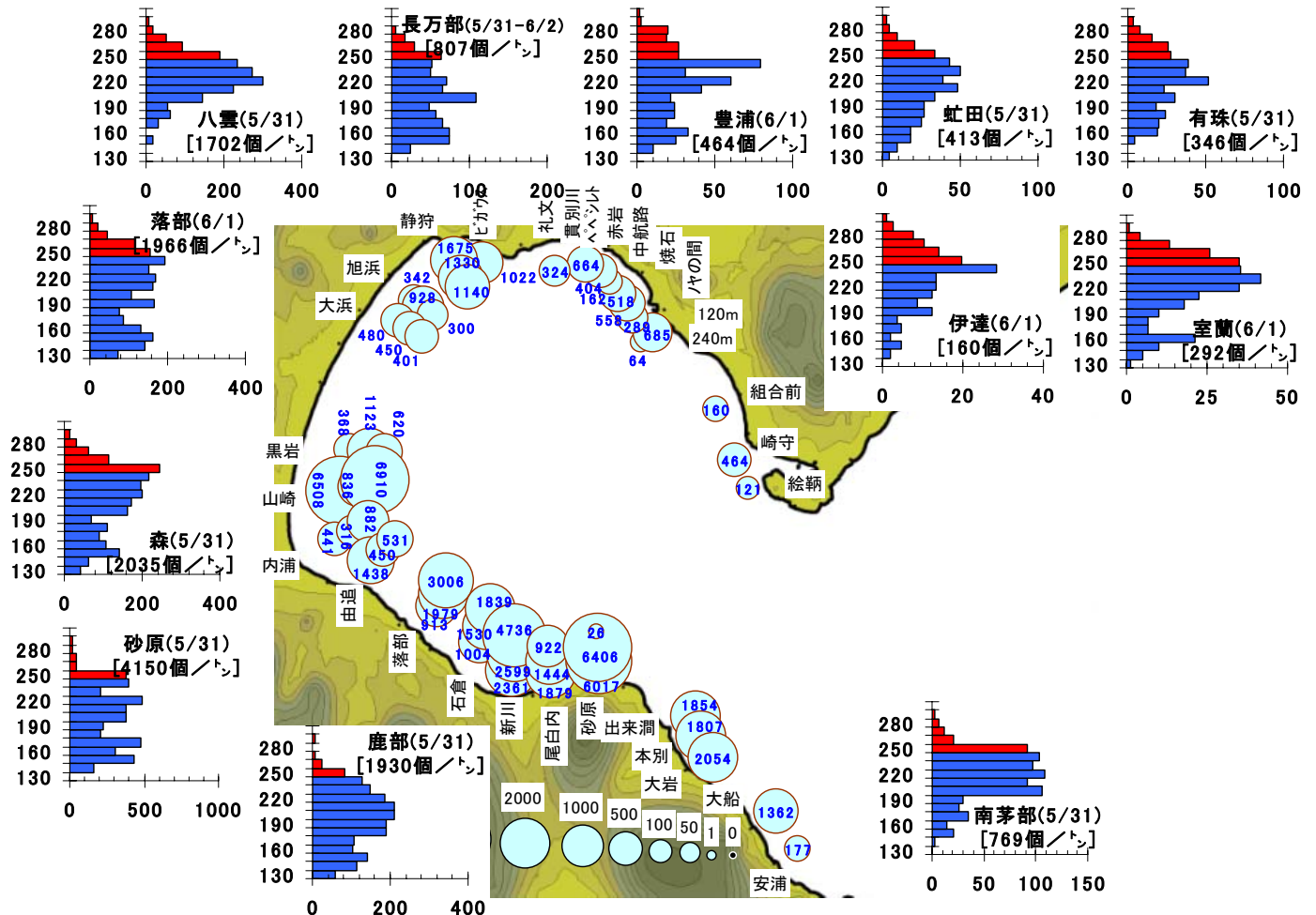


# 第5回噴火湾ホタテガイ情報(2010年)

発行日：平成22年6月3日

函館水産試験場・栽培水産試験場・釧路水産試験場  
胆振・渡島北部・渡島中部地区水産技術普及指導所

図1. 浮遊幼生分布状況(5/31-6/2) ・丸の大きさと添付数字は幼生密度(個/ト)、



## 概要

5月31日～6月1日に各地区指導所により、噴火湾沿岸部の浮遊幼生調査が行われました。噴火湾全湾から南茅部まで浮遊幼生の密度が高い状態です。特に、渡島側で密度が高く、3,000から6,000個/トを超える地点も見られます。前回調査で密度が低かった室蘭でも、400個/トを超える浮遊幼生が見られています。成長も順調で、殻長230～240μmが中心で、付着直前の260～280μmの幼生も順調に増えています。**各指導所とも、6月第1週中に1回目の採苗器投入を行うよう指示しています。**また、その他二枚貝の浮遊幼生も多いため、採苗器を分けて投入するように指示がされています。各地区指導所の採苗情報を参考にしてください。

来週(6月第2週)は函館水試金星丸による全湾調査も予定されています。

連絡先：函館水試 調査研究部 管理増殖グループ 馬場・渡野邊・菅原・金森